

丹高ニュース

～ 豊かな学びの実現 ～

コサージュで卒業の門出を祝いました。
丹原高校を想う時間～タンバラジカン～

多肉植物で門出コサージュ 丹原高卒業式 在校生手作り

県立高校で卒業式があった1日、西条市丹原町願連寺の丹原高校では、1年生が卒業生に多肉植物で手作りしたコサージュを贈った。3年生115人はブレザーの胸元を華やかに飾って式に臨み、学びやを巣立った。

同校では約20年前から、生け花や造花で卒業生の門出を祝うコサージュを作製。今回は校内で栽培している多肉植物に変更した。

卒業式前日の2月28日、1年生99人が赤や緑に色づいた「虹の玉」や「ブロンズ姫」といった多肉植物をカスミノウなどと重ね合わせ、140個のコサージュを作った。園芸科学科の越智友咲菜さん(16)は「一生に一度の高校卒業式を良い思い出にしてほしい」



卒業式の前に、卒業生(右)へコサージュを贈る1年生

と話した。

1日は、卒業式前にコサージュを贈呈。卒業生は「デザインがかわいい」などと笑顔を見せた。式の後に寄せ植えできるように鉢もプレゼントした。同校では20年以上、実習

で地域住民向けに多肉植物の寄せ植え教室を開いている。多肉植物は育てやすく長持ちするため、「丹原高で過ごした日々を忘れないでほしい」との思いを込めた。

(伊藤義樹)

在校生が多肉植物を活用し、コサージュを製作。
多肉植物を見て、卒業後も「丹原高校を想う時間～タンバラジカン～」を感じてください。
卒業、おめでとうございました！